

## 一般会計

歳入は、個人の雇用や所得をめぐる環境が依然として厳しい状況であることから、個人住民税が落ち込み、町税が前年度より2,849万円（前年度対比1.0%）の減となりました。また、地方交付税は普通交付税の需要額に地域活性化・雇用等臨時特例費が創設されたため1億7,173万円（同10.6%）の増、北部工業団地用地売却収入により財産収入が5億4,766万円の増、借入に当たる町債発行は道の駅整備事業債や地方交付税の代替の借入金である臨時財政対策債を増発したため3億3,626万円（同87.1%）の増となっております。

歳出は、前年度と比較して6.3%の増となり、道の駅整備事業や地域活力基盤創造交付金事業などにより土木費が大幅な増加をしております。

そのほかの主な事業としては、池田中学校南舎耐震補強事業、温知小太陽光発電事業、子ども手当、北部工業団地用地購入事業、緊急雇用創出事業などを行いました。

## 特別会計

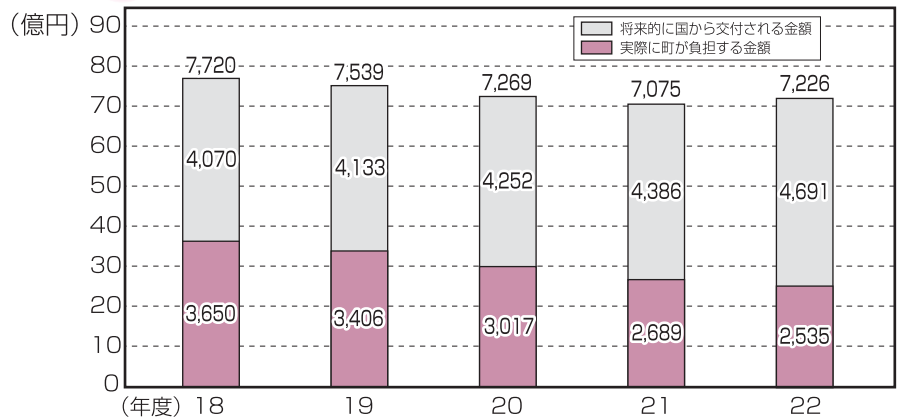
国民健康保険特別会計は後期高齢者支援金等の減により決算額が減りました。老人保健特別会計は、後期高齢者医療事業特別会計への移行により決算額が大幅に減り、後期高齢医療事業特別会計は微増となりました。公共下水道事業特別会計は、池野・六之井・田畑地内の管渠布設工事を行い、簡易水道事業、農業集落排水事業特別会計は施設管理費が主なものです。また、温泉施設特別会計は差引額が147万円の赤字となりました。

## 特別会計とは

特定の事業を行う場合、特定の歳入をもって特定の歳出に充て、一般会計とは区別して経理する必要がある場合に設置するもので、池田町には8つの特別会計があります。

## 町債元利未償還額の推移（一般会計）

（単位：百万円）



## 町債とは

施設を建設するなど一時的に多額の資金を要する事業を行う場合に町が借り入れ、後年返済していく長期間の借金のことです。

将来、施設を利用する人も負担することになり、受益者間の公平を計るという効果があります。

なお、町債の中には返済額に対して国から地方交付税により交付される借金（臨時財政対策債、減税補てん債など）もあります。

## 町債元利未償還額の内訳

区分	未償還額(万円)	起債目的
一般会計	総務債	38億 6,619 臨時財政対策債、減税補てん債等
	民生債	3億 4,170 温知保育園建設、障害児治療訓練教室建設、八幡児童館・児童クラブ室建設
	建設債	20億 1,437 町道整備、池田山山林道改良、町営住宅、臨時地方道整備事業、池田南部公園整備事業等
	義務教育債	8億 1,000 温知小学校校舎改築事業、温知小学校プール建設等
	社会教育債	1,648 地区公民館、池野多目的広場ドーム建設等
	消防債	1億 5,940 防火水槽、小型動力ポンプ付積載車、消防ポンプ自動車、防災行政無線設備整備事業等
	災害復旧債	1,809 河川等補助災害復旧事業、林道施設補助災害復旧事業
計	72億 2,623	
特別会計	北部簡易水道事業	1億 6,796 北部簡易水道事業
	南部簡易水道事業	2億 3,764 南部簡易水道事業
	農業集落排水事業	32億 7,981 中谷地区・徳谷地区・大谷地区・大津谷地区・白鳥地区・深歩谷地区・東光寺谷地区農業集落排水事業
	公共下水道事業	45億 3,704 公共下水道事業
計	82億 2,245	
水道事業会計	14億 5,306	上水道事業
合計	169億 174	うち、将来的に国から交付される金額：86億 7,521万円 実際に町が負担する金額：82億 2,653万円

## 平成22年度交際費の内訳

区分	町長		町議会議長		教育委員会委員長		農業委員会委員長	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)	件数	金額(円)
会費	9	33,000	2	7,000	0	0	0	0
供花・供物	4	12,850	1	3,000	0	0	0	0
香典	16	115,600	6	30,000	0	0	1	10,000
お見舞い	6	30,000	1	5,000	0	0	0	0
祝儀	15	196,900	5	73,136	0	0	0	0
謝礼	2	150,000	3	11,661	0	0	0	0
各大会賞品	0	0	4	27,370	0	0	0	0
協賛金	2	34,000	0	0	0	0	0	0
その他(会議費・消耗品費等)	19	227,160	0	0	0	0	0	0
合計	73	799,510	22	157,167	0	0	1	10,000